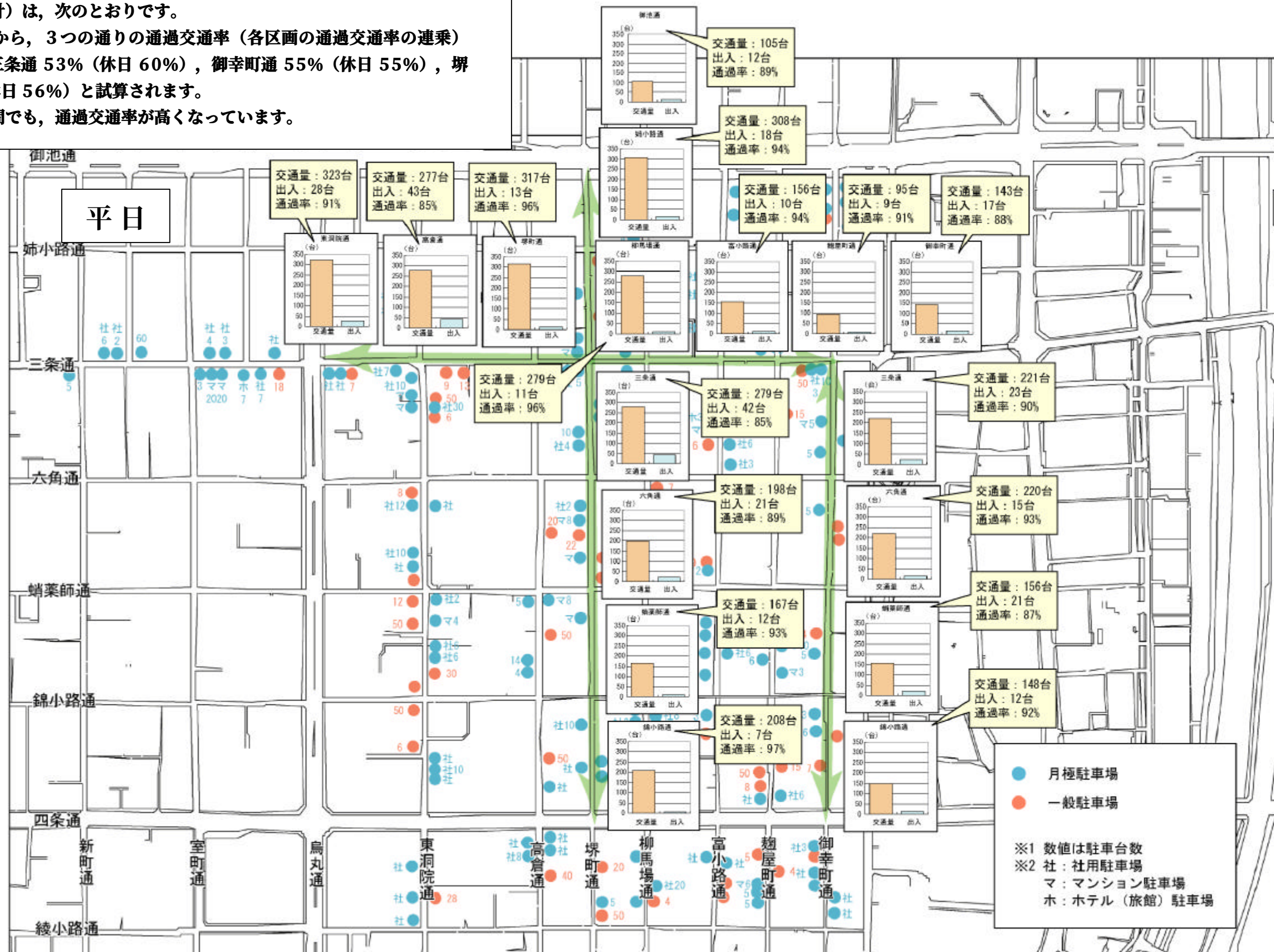
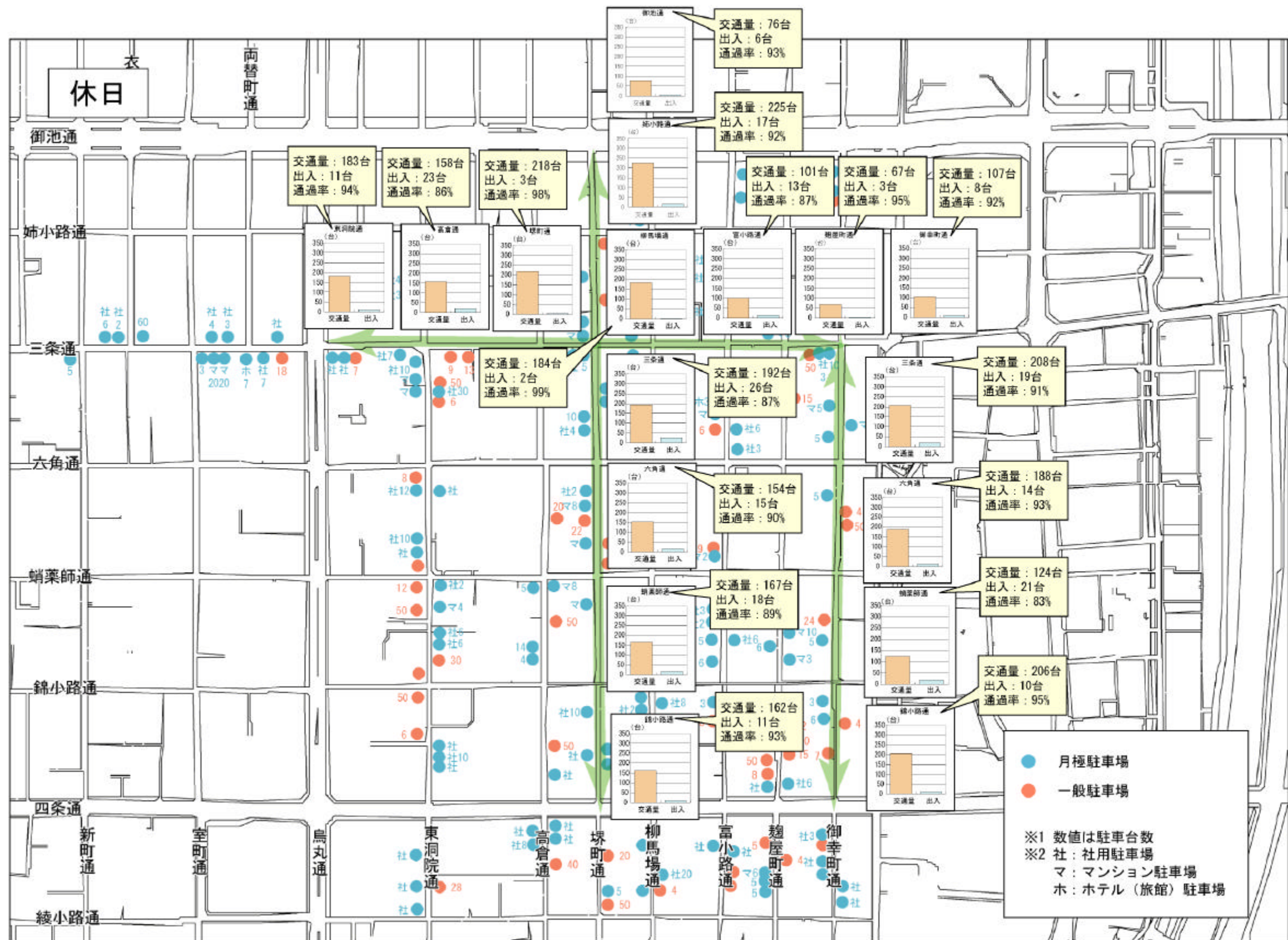


(イ) 沿道出入・通過交通率

- 研究会調査によると、三条通・御幸町通・堺町通の区間ごとの時間当たり交通量①、沿道出入量（②で除した推計入量②を掲載）、通過交通率（①－②を②で除して推計）は、次のとおりです。
- このデータから、3つの通りの通過交通率（各区間の通過交通率の連乗）は、それぞれ三条通 53%（休日 60%）、御幸町通 55%（休日 55%）、堺町通 57%（休日 56%）と試算されます。
- いずれの区間でも、通過交通率が高くなっています。





(ウ) 滞留長

- 研究会調査によると、滞留長（信号待ちの車両の長さで、かつ、青信号で解消しきれない長さをいう。）は、次のとおりです。
- 平日は、東洞院通（16 時台），柳馬場通及び富小路通（15 時台）において滞留長が長く延びています。
- また、休日は、比較的安定した低い水準で推移していますが、寺町通のみ、15 時台において滞留長が長く延びています。

滞留長調査地点

